



報道発表資料の配付日時 7月14日(木) 12時00分

発表項目 (行事名)	令和4年度ICT活用種馬鈴しょ生産実証事業現地見学会の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道では、種馬鈴しょ生産における病株抜き取り作業の負担軽減を図るため、今年度、十勝管内において「ICT活用種馬鈴しょ生産実証事業」を実施しており、今回その取組内容を広く関係者の方に紹介するため、現地見学会を開催します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 日時：令和4年(2022年)7月20日(水)10:00～11:30(先着50名) 場所：吉田農場(河西郡更別村北更別区) 主催：北海道 参集範囲(順不同) 十勝管内の市町村及び農業協同組合、北海道農業研究センター、北海道総合研究機構、横浜植物防疫所札幌支所、北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会、十勝総合振興局 内容 <ul style="list-style-type: none"> ICT活用種馬鈴しょ生産実証事業の紹介(北海道農政部) 種馬鈴しょ生産の現状及び課題(吉田農場) 取組内容紹介(NTTコミュニケーションズ株式会社) ドローンによる病株等データ取得のデモンストレーション 		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	<p>当日参加を希望される場合は、添付の申込書に必要事項を記入し、7月19日正午までに電子メールにて申込みいただくとともに、当日は9時50分まで現地に直接お集まりください。</p> <p>なお、事前に質問等がある場合は申込書に併せて記入ください。</p>		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	<p>農政部生産振興局農産振興課てん菜馬鈴しょ係(担当者：豊口、柄澤)</p> <p>TEL ダイヤルイン 011-204-5434</p> <p>内線 27-712</p>		
-------------	---	--	--

「令和4年度ICT活用種馬鈴しょ生産実証事業」現地見学会の開催について

北海道農政部生産振興局農産振興課

1 目的

道では、種馬鈴しょ生産における病株抜き取り作業の負担軽減を図るため、今年度、十勝管内において「ICT活用種馬鈴しょ生産実証事業」を実施しており、今回その取組内容を広く関係者の方に紹介するため、次のとおり現地見学会を開催する。

2 主催

北海道

3 日時

令和4年(2022年)7月20日(水) 10:00~11:30 (定員先着50名) ※雨天決行

4 場所

吉田農場 (河西郡更別村北更別区)

・地図アドレス~<https://goo.gl/maps/jwysJCKWwxNQAtTv5> →



※雨天時~更別村農業協同組合2階会議室 (河西郡更別村字更別南2線92番地)

5 参集範囲

十勝管内市町及び農業協同組合、北海道農業研究センター、北海道立総合研究機構、横浜植物防疫所札幌支所、北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会、十勝総合振興局

6 内容

【吉田農場倉庫(屋内)】

- 1) 10:00~10:10 ICT活用種馬鈴しょ生産実証事業の紹介 (北海道農政部)
- 2) 10:10~10:15 種馬鈴しょ生産の現状及び課題 (吉田農場)
- 3) 10:15~10:30 取組内容紹介 (NTTコミュニケーションズ株式会社)

【生産圃場(屋外)】 ※雨天時は、作業風景動画での説明となります。

- 1) 10:35~11:10 ドローン飛行を含むデモ (NTTコミュニケーションズ株式会社)
 - ・病理株データ取得 (ドローン手動飛行)
 - ・正常株データ取得 (ドローン自動飛行)
- 2) 11:10~11:30 質疑・応答
- 3) 11:30 終了

7 参加申込み

別紙「参加申込書」により7月19日(火)正午必着で、農政部農産振興課まで電子メール (nosei.nosan1@pref.hokkaido.lg.jp) にてお申込みください。

なお、不明な点等がございましたら、農産振興課てん菜馬鈴しょ係 柄澤 (電話番号011-204-5434) までお問い合わせください。

※ 新型コロナウイルス感染防止に配慮した現地見学会を行うため、参加人数に上限を設けておりますので、必ず事前にお申込みの上ご参加をお願い致します。

また、病害虫侵入防止のため、ブーツカバーを必ず装着して参加願います。

【別紙】

「令和4年度 ICT活用種馬鈴しょ生産実証事業」現地見学会 参加申込書

所属	
氏名	
参加人数	
※複数名での参加を希望される、代表者以外の氏名を記入願います。	

※ 駐車スペースが少ないため、なるべく乗り合わせで御来場ください。

○事前にご質問等ありましたら、ご記入ください。

【申込方法】 令和4年(2022年)7月19日(火)正午までに電子メールにてお申込みください。nosei.nosan1@pref.hokkaido.lg.jp

ICTを活用した種馬鈴しょ生産の実証について

全国一の生産を誇る馬鈴しょは、畑作農業の経営規模拡大に伴う労働負担の増大などにより、作付面積が減少傾向にある。特に種馬鈴しょは、植物防疫法に基づく検査が義務付けられていることから、種馬鈴しょ生産における病株抜き取り作業の負担軽減を図るため、ICTを活用した生産技術の実証に取り組む。

現状・課題

- 馬鈴しょ作付面積は年々減少、特に種馬鈴しょの作付面積の減少率大きい。
- 馬鈴しょは病気に弱く、植物防疫法により健全な種子の提供が求められている中、種馬鈴しょ生産農家においては、専門知識を要し、かつほ場見回りによる病株抜き取り作業が大きな負担
- 一方で、衛星データを活用した牧草と雑草の判別技術など、画像解析技術が大きく進展

種馬鈴しょ生産における
労働負担軽減

「種馬鈴しょ生産者の確保」
「作付面積の維持・拡大」

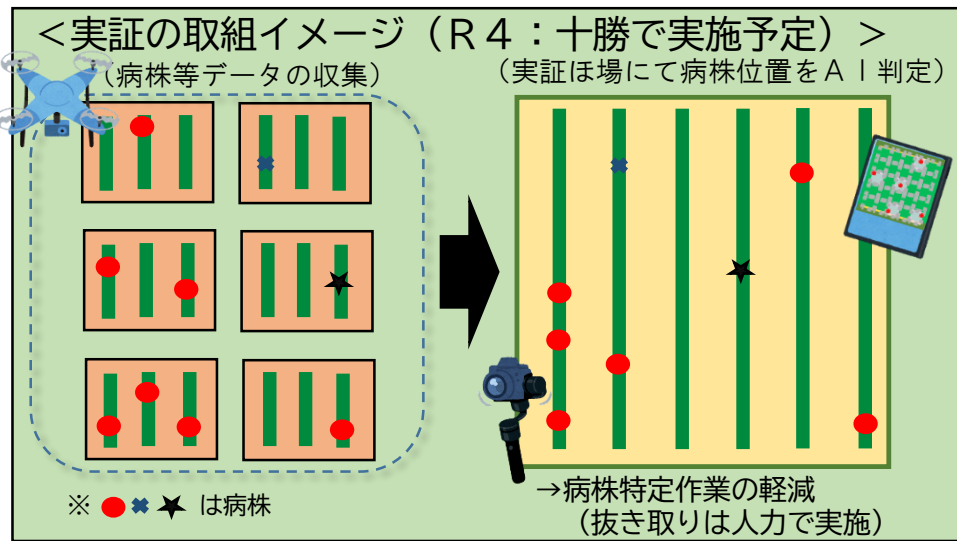
取組内容

1 病株抜き取り作業の負担軽減に向けた実証 (委託)

- ・病株・生理障害株の写真・映像データ収集
- ・病株のAI判定に係る精度向上のための技術実証
- ・従来の目視確認による抜き取り回数等のデータ集計（モニタリング調査）

2 検討会の開催

- ・取組計画や進捗、実績等の検討



めざす姿

- ICTと人力をミックスした、手間のかからない栽培体系の早期確立
- 新たに取り組む種馬鈴しょ生産農家の確保・育成

全国一の馬鈴しょ
生産を支える種馬
鈴しょの安定生産
体制の確立

※R5以降は、今年度の実施状況を見ながら他地区での実証を検討